

医師及びメディカルスタッフのための

第35回糖尿病セミナー「糖尿病治療 Up to date」

日時 2019年 2月 11日(月・祝) 13:00~16:40(受付開始12:00~)

会場 新都市ホール・そごう9階 (定員:900名)

共催 神奈川県保険医協会/ノボ ノルディスクファーマ株式会社

プログラム

特別講演1 テーマ:『糖尿病網膜症治療の現状—特に黄斑浮腫に対する局所薬物療法について—』

演者: 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 眼科部長 准教授 荒川 明先生

特別講演2 テーマ:『Free Style Libre のメリット・デメリット』

演者: 東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 西村 理明先生

レクチャー① テーマ:『在宅訪問診療で対応している糖尿病患者について』

演者: 江口医院 院長 江口 一彦

レクチャー② テーマ:『GLP-1 受容体作動薬の種類とその効用』

演者: H.E.Cサイエンスクリニック 糖尿病センター センター長 調 進一郎

レクチャー③ テーマ:『当院における運動療法の実際』

演者: 医療法人社団 武田クリニック 院長 武田 浩

申込方法

参加費 事前振込 3,000円(当日支払い4,000円) ※お振込後の返金は出来ません。

★必ず事前にFAX等でお申し込み下さい。その後、下記口座へ1/30(水)までに参加費をお振込みください。(お振込みが期日までに間に合わない場合は、事務局へお問合せ下さい)また、その際、通信欄に「参加者氏名(複数の場合は全員分)」と「糖尿病セミナーの参加費」である旨をご記入ください。資料は当日お渡します。

振込先 郵便局口座名:神奈川県保険医協会 口座番号: 00260-2-2220

問合せ 神奈川県保険医協会 担当: 大井、大波、田中 電話 045-313-2111 / FAX 045-313-2113
~セミナーにお申し込みをされた方へ~

※お申し込みが受け付けられた旨の連絡はしておりません。(別段連絡が無い限り受け付けられております)

※会場は座席により空調の利きに偏りがあります。必要な方は上着、ひざかけ 等ご用意ください。

【取得単位】

- ・ 神奈川県糖尿病療養指導士認定のための研修会 (5単位)
- ・ 日本糖尿病療養指導士認定・更新のための研修会 (第2群 1単位) 申請予定
- ・ 日本糖尿病協会 療養指導医 (歯科医師登録医) 取得のための講習会
- ・ 日医生涯教育認定講座 CC 申請予定

※原則、遅刻・早退された場合は、単位取得のための参加証配布は致しかねますので、ご了承ください。

第35回糖尿病セミナー 参加申込書 <FAX 045-313-2113>

代表者に○	フリガナ	参加者氏名	職種

代表者連絡先ご住所
どちらかに○のチェック
(自宅 又は 施設) 〒

ご連絡先TEL

ご連絡先FAX

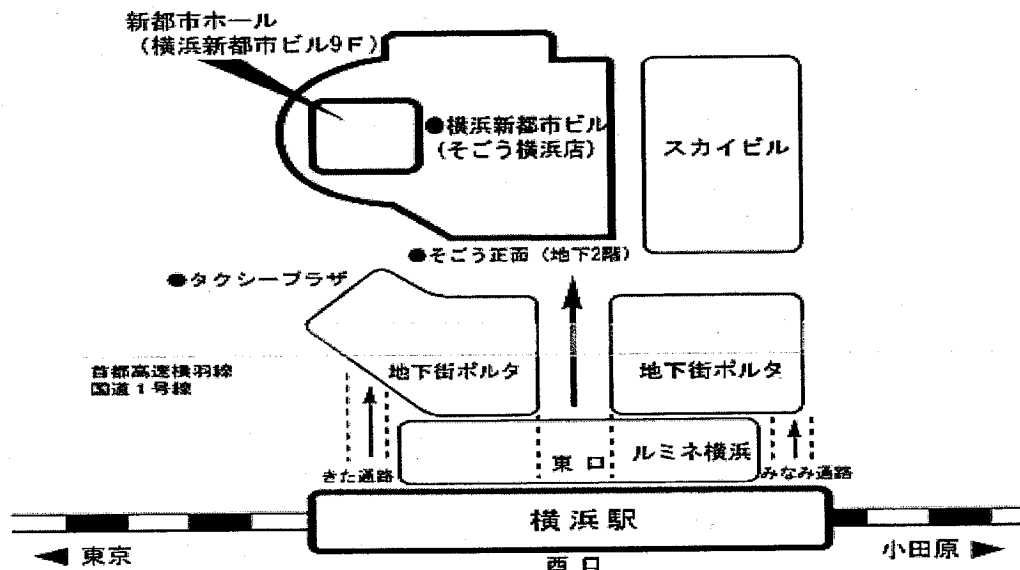
施設名

(自宅 又は 施設) ()

(自宅 又は 施設) ()

★複数お申し込みの場合は、全員のお名前・フリガナ・ご職業をご記入下さい。■お申し込み後、参加費をお振込み下さい。

【新都市ホール会場図】



【講演要旨】

※当日多少の内容変更もあります。あらかじめご了承下さい。

■ 聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 眼科部長 准教授 荒川 明先生 ■

糖尿病網膜症に対する眼科での治療手段は従来、レーザー治療や手術に限られていましたが、4年前から糖尿病黄斑浮腫の合併例には複数の局所注射薬が使用できるようになりました。その成績などを含めて、治療の現状を解説いたします。

■ 東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 西村 理明先生 ■

Free Style リブレが画期的なのは、円形のセンサーに本機器をかざすと、瞬時に直近の血糖値、ならびに過去8時間の血糖値の推移、さらにはそのトレンドを示す矢印が示される事である。その詳細、デメリットについても触れたい。

■ 江口 医院 院長 江口 一彦 ■

在宅訪問診療で対応している患者には、外来通院患者と異なり様々な問題があります。介護者の有無や介護環境、施設居住者では看護師勤務の有無などで対応が異なります。多職種連携の重要性についてお話します。

■ H.E.C サイエンスクリニック 糖尿病センター センター長 調 進一郎 ■

2009年発売のDPP-4阻害薬が大活躍する中、翌年発売のGLP-1受容体作動薬は少し影が薄い存在でした。けれども、近年は心臓や腎臓の保護作用などのマルチ作用が注目されています。そんなGLP-1製剤の新たな魅力をお伝えします。

■ 医療法人社団 武田クリニック 院長 武田 浩 ■

3年前より運動療法指導指導室を設置し、ヨガ教室、ストレッチ教室、ベリーダンス教室などを施行してきています。フレイル対策、患者さんの参加への取り組み、今後の課題を提示したいと思っております。